



副代表幹事  
経済同友会の将来ビジョンを考えるPT 委員長  
**金丸 恭文**  
フューチャーアーキテクト  
取締役会長兼社長

### Contents

■特集	
全国経済同友会代表幹事円卓会議 (福島県開催)	02
<b>震災復興の現状と課題</b>	
■Doyukai Report	
訪中ミッション 報告書概要	13
「中国企業家集団との経済交流会で 経済面での連携を促進」	
■Seminar	
第1236回 会員セミナー 「企業標的型サイバー攻撃の脅威と トップ・リスクマネジメントの重要性」 藤谷 護人 氏 弁護士法人エルティ総合法律事務所 所長 弁護士、公認システム監査人	15
第1237回 会員セミナー 「日本の安全保障と集団的自衛権問題」 岩間 陽子 氏 政策研究大学院大学 教授	16
第138回 TCERセミナー 「人口減少社会の到来 日本経済・地域への影響とその対応」 小峰 隆夫 氏 法政大学大学院政策創造研究科 教授	17
■Column	
巻頭言 金丸 恭文 「桜島」	01
リレートーク 永田 亮子 「トップを目指すこと ースポーツとビジネス」	12
福島に“ほんとの空”が戻る日まで ～福島大学FUREの挑戦～ 山川 充夫 氏 「未来支援センター長、その後」	18
コペンハーゲン通信 「カーテンが少ない国」	19
私の思い出写真館 中谷 昇 「人生の転機としてのMBA」	22
新入会員紹介	20
産業懇談会の紹介	21

## 「桜島」

今年の夏、父親が亡くなって五年目。東京、大阪、神戸、奈良、金沢から鹿児島に親戚が集まった。金丸家のお墓は鹿児島市内の唐湊墓地にある。始良郡蒲生町(現・始良市)出身の祖父母が鹿児島市内に移り住んでから建てたものだが、お墓に向かう坂を上る途中、雄大な桜島が錦江湾の向こうに悠然と姿を現す。きっと祖父母は、この景観を好んで場所を選んだに違いない。

今年は1914年(大正3年)の大噴火から100年目。この大噴火で幅360m、深さ75mの海峡が溶岩で埋まり、陸続きとなった。鹿児島地方気象台によると、2009年から2013年の最近の年間爆発回数は、548回、896回、996回、885回、835回と活発化している。10月27日には鹿児島市議会の桜島爆発対策特別委員会が開かれ、御獄山の噴火を踏まえた防災対策等の議論も行われた(突然の噴火により犠牲となられた皆さまには、心よりご冥福をお祈り申し上げます)。豊かな自然の中に潜む火山大国、地震大国日本のリスク。国と地方が連携し、備えに最善を尽くすしか方法はないのだろう。

折しも、安倍政権が掲げる地方創生にも特効薬は存在しない。政府には地方の活力を緩やかでも上向きにする政策の提示が望まれ、地方においても、地域経済に貢献することのできる、やる気とアイデアを持った人材を育てていけるかどうか問われている。これからの社会では、ITの発展がさらに進むことで単純な事務や作業は奪われていき、「普通の人ができる仕事は何か」を問われ続ける。“アルゴリズムと数式に「知識」を加えることで瞬時に最適解を導き出すコグニティブ・コンピューティング・システムの発展により、今後はホワイトカラーや高度人材の仕事のやり方や存在意義まで問われることになるだろう。

新しい時代の適応者とは、常に新しいものをいち早く許容し、戦略的に自己破壊と再構築をした者たちだ。地方も、発達し続ける情報通信インフラを手にする事で、時間と距離の制約から解放される。未来の人々は快適に過ごせる環境に住みながら世界中から注文を受け、情報通信網や物流網を活用して成果を届けることができる。“安心と安全に「美味」”を加えた日本の農作物は、人工知能「Watson」でも脅かすことのできない日本のキラコンテツではないだろうか。未来の日本の農業者が人工知能を使いこなす、ビッグデータの匠たくみになってほしいと願っている。

今月の表紙:世界の文様シリーズ

### 【中国/傘の抽象文様】

均整のとれた抽象柄です。内部に描かれているのは梅です。縁起が良いとされる動植物などをモチーフにした図柄は吉祥文様ともいい、中国文化圏を中心にアジアで人気です。